

だい き さとやま たい
第6期里山はっけん隊！

い とくちょう ずかん
生きものの特 徴まるわかり図鑑



主催：茅ヶ崎市

共催：（公財）神奈川県公園協会

協力：柳谷の自然に学ぶ会

はじめに

これは第6期「里山はっけん隊！」において、参加したみなさんに発表していただいた生きものの特徴についてまとめたものです。

第6期「里山はっけん隊！」では、公益財団法人神奈川県公園協会及び市民団体「柳谷の自然に学ぶ会」の方々にご協力いただき、四季ごとに茅ヶ崎里山公園を訪れ、午前に湿地の保全作業と自然観察を行いました。

午後には、午前中の自然観察についての発表や、里山の恵みを生かした工作・おやつ作りなどを行いました。

発表では、生きものの「特徴」に着目をし、「なぜその特徴があるのか」を考え、発表していただきました。

ひとりひとり、特徴について様々な発想があり、子どもならではの鋭い視点や考え方を聞くことができました。

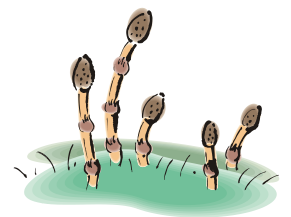
昔から里山は、人の手が加わることによりたくさんの動植物が生きられる環境が保たれてきました。

第6期里山はっけん隊！では、あらたな試みとして保全作業を実施しました。ただ生きものを観察するだけではなく、保全作業を行うことにより、「人の手が加わることの大切さ」を実感していただけたかと思えます。

この作品を通して、里山はっけん隊！で感じたことや学んだことについての理解を深め、また後世に伝える役割も果たせたら幸いです。

また、この活動に参加していただいた隊員のみなさまにこの場を借りてお礼申し上げます。この活動を通して体験されたことや感じたことなどをぜひ未来へ伝えてください。ご参加いただき、ありがとうございました。

茅ヶ崎市／（公財）神奈川県公園協会／柳谷の自然に学ぶ会



もくじ 目次

はじめに・・・P 2

さとやま しっち ほぜんかつどう
里山とは・湿地の保全活動・・・P 4

はたけ むらしっち おも
畑の村湿地に思うこと・・・P 5

しっち うつ か
湿地の移り変わり・・・P 6

ちがさきさとやまこうえん
茅ヶ崎里山公園について・・・P 8

さっし みかた
この冊子の見方・・・P 10

だい かい あき
第1回（秋）・・・P 11

だい かい はる
第2回（春）・・・P 16

だい かい なつ
第3回（夏）・・・P 23

だい かい ふゆ
第4回（冬）・・・P 31

い ちょうさけっか
生きもの調査結果・・・P 38

さとやま 里山とは

さとやま にんげん むかし て い つく あ みぢか しぜんかんきょう さとやま
里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境です。里山
にんげん すいろ ひら た はたけ たがや ぞうきばやし て い
では、人間が水路を開き、田んぼや畑を耕し、雑木林の手入れをすることで、たくさ
どうしょくぶつ い かんきょう たも
んの動植物が生きられる環境が保たれてきました。

むかし ひとひと さとやま さんさい しぜん い
昔、人々は里山でたきぎをとったり、山菜をとったりしながら、自然とともに生きていました。

じゅうよう やくわり にな さとやま わたし げんざい せいかつ ゆた
そんな重要な役割を担っている里山ですが、私たちの現在の生活が豊かになる
いっぽう わたし せいかつ おんけい あた さとやま じゅうよう し
一方で、これまで私たちの生活に恩恵を与えていた里山は重要視されなくなってしまう
まいりました。

さとやま げんしょう さとやま せいそく せいいく どうしょくぶつ げんしょう
里山が減少してしまうと、里山に生息・生育していた動植物も減少してしまい
ゆた しぜん どうしょくぶつ まも さとやま じゅうようせい みなお ひつよう
ます。豊かな自然や動植物を守るためにも、里山の重要性を見直す必要があります。

しっち ほぜんかつどう 湿地の保全活動

しゅってん かんきょうしょう
出典：環境省

さとやま ゆた しぜん どうしょくぶつ ふ あ くわ がいらいしゅ さとやま ひと て
里山で豊かな自然や動植物に触れ合うことに加え、外来種のことや里山に人の手
はい たいせつ ほぜんかつどう つう さんか みなさま かん
が入ることがとても大切なことを、保全活動を通じて参加される皆様に感じてもらいた
おも こんき さとやま たい いちぶ ほぜんかつどう しごとたいけん も
い、という思いから今期より、里山はっけん隊！の一部に保全活動（お仕事体験）を盛
こ
り込みました。

ねんまえ あき かいさい だい きだい かいめ こ せたけ こ たか そだ
2年前の秋に開催した第6期第1回目では、子どもたちの背丈を超える高さまで育っ
がいらいしゅ けいぞく ほぜんかつどう けっか
た外来種のセイタカアワダチソウがたくさんありましたが、継続した保全活動の結果、
しっち かたち み
湿地としての形が見えるまでになってきました。

さんか みなさま ほぜんかつどう たの こえ
参加された皆様のアンケートからも、保全活動について「楽しかった」という声があ
さとやま まも ひと て い ひつよう こた かた たすう
るとともに、「里山を守るには人の手入れが必要である」とお答えいただいた方が多数
いらっしゃいました。

こうえん かんり こうえきざいだんほうじんかながわけんこうえんきょうかい ほぜんかつどう たずさ
公園を管理している公益財団法人神奈川県公園協会と、保全活動に携わってい
やなぎやと しぜん まな かい ちがさきし さんしゃ きょうりよく と く
る柳谷の自然に学ぶ会と茅ヶ崎市の三者が協力することで、こういった取り組みが
じつげん さとやま たいせつ さとやま たい みな し
実現しています。これからも里山の大切さを里山はっけん隊！の皆さんに知ってもら
きかく さんか
うために企画をしてみたいです。これからもぜひご参加ください！

き ちがさきし かんきょうせいさくか
（記：茅ヶ崎市環境政策課）

はたけ むらしっち おも 畑の村湿地に思うこと

第6期里山はっけん隊で関わってきた通称「畑の村湿地」は、かつて休耕田であり、その前は田んぼであった昔ながらの里山の原風景のような場所です。道路を隔てた西側の田んぼは大型農機具が入れるよう圃場整備され、水は小出川からポンプアップするという近代化された田んぼです。畑の村湿地はそれとは対照的に水は絞り水、水路も土のままで、そこに住む生きものに大きな違いが見られます。この地を調査した文献（資料館だより54 1985年発行）にも、この田んぼの特異性が書かれています。この土地の大切さを伝えようと私たちが関われる間に保全・再生に取り組みたいです。そう思っていました。それが公園協会の協力を得て、里山はっけん隊という形で実現したのです。そしてその面白さは保全活動を通してますます分かってきました。水路では小出川とのつながりを感じさせる生きもの（スミウキゴリ、モクズガニ）が発見され、野鳥ではゴイサギやカワセミなどが見られるようになりました。

また、ここは保全区域ではないので、多くの子どもたちの自然観察や体験の場としても活用することが可能です。里山はっけん隊では子どもたちにセイタカアワダチソウをたくさん抜いてもらいました。熱心に楽しそうに取り組む様子から、子どもたちは自然にかかわることが好きなのだということがよく分かり、未来に明るいものを感じさせてくれます。

私たちの祖先は素晴らしい自然との関わり方を編み出しました。自然を壊さず、自然から最大限に恵みを得る、自然との共生の文化です。人間も自然の一部なのです。これは世界に誇れるものです。これからグローバルな社会に生きる子どもたちに自分たちの祖先の文化に誇りをもって生きてほしいと思っています。だからたくさん子どもたちにここに関わってもらい、細やかな自然との触れ合いを通して学んでほしいというのが私たちの願いです。そうなれば、畑の村湿地はこの地域の大切な場所になると思います。

（記：柳谷の自然に学ぶ会）



次のページでは、第1回～第4回の保全作業のようすを掲載しています。この2年間で、湿地はどのように変化したのでしょうか？

しっち うつ か 湿地の移り変わり



だい かい へいせい ねん がつ にち
第1回(平成30年11月18日)

おとな せ たけ
大人の背丈くらいあるセイタカアワダチソ

ウが、びっしり^はと生えていました。



だい かい へいせい ねん がつ にち
第2回(平成31年3月27日)

だい かい くら
第1回に比べると、だいぶすっきりとしたこ
とがわかります。



だい かい れい わ ねん がつ にち
第3回(令和元年7月13日)

なが たけ
長い丈のものはなくなり、すっきりとしまし
た。



だい かい れいわ ねん がつ にち
第4回(令和元年12月15日)

なが たけ
長い丈のものはありますが、ぜんたいてき全体的にすっきりとしています。



れいわ ねん がつげんざい しっち
令和2年3月現在の湿地

なが たけ
長い丈のものはなくなり、ぜんたいてき全体的にすっきりとしています。



いっしょうけんめいほ ぜんさぎょう
みなさん、一生懸命保全作業をしていた
だきありがとうございました！

ちがさきさとやまこうえん 茅ヶ崎里山公園について

★歴史

ちがさきさとやまこうえん さむかわえき ひがし おだきゅうしょうなんだいえき なんせい やく
茅ヶ崎里山公園は、JR 寒川駅から 東 に3km、小田急湘南台駅から南西に約5km、
ちがさきえき やく いち ばしよ へいせい ねん がつ
JR 茅ヶ崎駅から約5kmに位置する場所にあります。平成13 年10 月に12.4ha でオープン
し、その後順次面積を広げ、現在は36.8ha の広域公園です。茅ヶ崎市北部から藤沢市
せいほくぶ いったい や と やとでん はたけ ぞうきばやし さとやま
西北部にかけての一帯にはたくさんの谷戸があり、谷戸田や 畑、雑木林からなる里山
ふうけい ひろ さとやま な お こ ほんこうえん めいしょう こうぼ よ
の風景が広がっていました。この里山の名が織り込まれた本公園の 名 称 は公募から寄
めいしょうあん えら さとやま けいかん う つ
せられた、たくさんの 名 称 案から選ばれました。そして、この里山の景観を受け継
しぜん にんげん お ゆた みらいかんきょう つく め ざ しょうなん さと
ぎ、自然と人間の織りなす豊かな未来環 境 を作ることを目指す「湘 南みらいの里」
せいび すず さとやまほぜん にな て ちいきじゅうみん
をテーマとして整備が進められてきました。また、里山保全の担い手となる地域 住 民 や
けんみん きょうどう すいしん こうえん しせつせいび かんりうんえい しせつりよう いけん き
県民との協 働 を推進し、公園の施設整備や管理運 営、施設利用について意見を聞きな
みなさま した こうえん め ざ
がら皆様に親しまれる公園づくりを目指しています。

★とく 取り組み

- さとち さとやま しぜん い たの かんきょう
・里地・里山の自然を活かし楽しむ環 境 づくり
- たの かいてき こうえんりよう
・楽しく快適な公園利用
- こうえん はじ けんこうてき く
・公園から始まる健康的な暮らし
- ぼうさいきのう かくほ
・防災機能の確保

★だい き さとやま たい とお 第6期里山はっけん隊！を通して

だい き さとやま たい はたけ むらしっち きょてん かつどう
第6期里山はっけん隊は、「畑 の村湿地」を拠点に活動をしました。
むかし ばしよ しほ みず わ で どうしょくぶつ せいそく よ かんきょう
昔 この場所はきれいな搾り水が湧き出ていて、動植物が生息するにはとても良い環 境 だ
ったそうです。
こんかい しぜん ふ あ ばしよ おお どうしょくぶつ よ もど
そこで今回は「身近に自然と触れ合える場所として、より多くの動植物を呼び戻そう！
さとやまほぜん たいせつ みな つた さいせい ほぜん はじ
そして里山保全の大切さを皆さんへ伝えたい。」と再生・保全を始めました。
がいらいしゅ め と どうしょくぶつ さが なまえ おほ はっけん
外来種を抜き取りながら、動植物を探してみたり、名前を覚えたり、いろいろな発見が
ありました。ワークショップでは 畑 の村湿地にある数珠を拾いアクセサリーを作って、
むかし ひとたち そうぞう めぐ きちょう たいけん
「昔 の人達はこんなことをしていたのかな？」などと想像を巡らせたり、この貴重な体験

こ しょうらい つな こうせい のこ ちしき まな
が子どもたちの将来に繋がり、後世に残すことのできる知識などを学ぶことができたので
はないでしょうか。

だい き さとやま たい しぜんかんさつ ほぜんさぎょう おこな い み
第6期里山はっけん隊は自然観察だけではなく、保全作業を行うことの意味や、この
と ち むかし ふうしゅう せいかつ まな たいけんがくしゅう ば はたけ
土地の昔ながらの風習や生活などを学んだり、体験学習の場のようなでした。この畑の
むらしっち こ さまざま たいけん ばしよ かつよう こうえんかんりしや
村湿地で子どもたちが様々な体験ができる場所として活用していただくことは公園管理者
としてもたいへんうれ おも
しく思います。

だい き さとやま たい みな こんかい こうえん しごと いっしょ
第6期里山はっけん隊のメンバーの皆さま、今回は公園のお仕事を一緒にやっていただ
きまして、本当にありがとうございました。 はたけ むらしっち みじか しぜん ばしよ
畑の村湿地は身近に自然とふれあえる場所と
して、たいせつ まも おも
大切に守っていきたいと思います。

き こうざい かながわけんこうえんきょうかい
(記：(公財) 神奈川県公園協会)

さっし みかた この冊子の見方

この冊子では、第6期里山はっけん隊！隊員の皆さんがはっけんした生きものの特徴をまとめられています。

れい
例

はっけんの
★発表してもらった生きもの

①


②


③




名前：カマキリ（ハラビロカマキリ）

特徴：①羽のところに白いのがついている
②羽の所に白い点が二つある

特徴の理由：①なぜかという他の種類と違うのかわかるんだけどなんでそんなふうになってるかはわかりません
②仲間のための目印かもしれない

学ぶ会より：これは背中に白い点があるのでハラビロカマキリです。進化の過程でそうになりました。仲間の目印になっているかもしれません。

上の絵は、里山はっけん隊！隊員のみなさんに書いてもらった、生きものの絵です。

この絵を見ながら、みんなの前で生きものの「特徴」を発表しましたね！

ここでは、皆さんに考えていただいた「特徴」について柳谷の自然に学ぶ会より、解説をしていただきました。

隊員のみなさんのはっけんした特徴と比較をしながら、はっけんした生きものについてもう1度着目してみましょう。

だい かい あき
第1回 (秋) 平成30年11月18日

かんさつ
観察ルート



にち 1日のようす

① 第6期里山はっけん隊！スタートです！



② 湿地の保全作業！リーダーからのお話のあと、
みんなでセイタカアワダチソウを抜きました。



③ 子どもたちは昆虫さがし名人！
自然観察では、次から次へと「いたよ！」
「みて！」「これなに？」と声が飛び交いました。



④ はっけんした生き物の特徴について、
1人1人発表しました。
「カマキリの羽に白い点があった」「仲間だ
という目印になるからだと思う」など生きもの
の特徴をとらえ、その理由について発表しても
らいました。



⑤ 午前中に採取したジュズダマを使ったブレス
レットを作りました。



★発表してもらった生きもの



名前：カマキリ（ハラビロカマキリ）

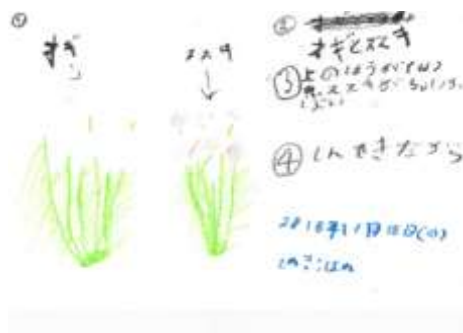
特徴：①羽のところに白いのがついている

②羽の所に白い点がある

特徴の理由：①なぜかという他の種類と違うのかわかるんだけどなんでそんなふうになってるかはわかりません

②仲間のための目印かもしれない

学ぶ会より：これは背中に白い点があるのでハラビロカマキリです。進化の過程でそうになりました。仲間の目印になっているかもしれません。



出典：アストロアーツ※1

名前：オギとススキ

特徴：羽のところに白いのがついている

特徴の理由：なぜかという他の種類と違うのかわかるんだけどなんでそんなふうになってるかはわかりません

学ぶ会より：ススキとオギはよく似てるけれど、ススキにはノギがあって、オギにはノギがありません。そこで見分けられます。

①

2018年11月18日
はれ



②カメ
ムシ

③木にとま
った

④たまごを
うむため



名前：カメムシ

特徴：木にとまっていた

特徴の理由：卵を産むため

学ぶ会より：クヌギカメムシはクヌギの木の皮の溝にひも状の卵を産み付けます。

2018年11月18日
てれさ はれ

①



②ナナホシテントウ
③よくいえる「てつ切」
くろい「はな」をまよ



名前：ナナホシテントウ

特徴：赤い羽に7つの黒い水玉模様

学ぶ会より：樹のうらなどに集まって冬を越します。

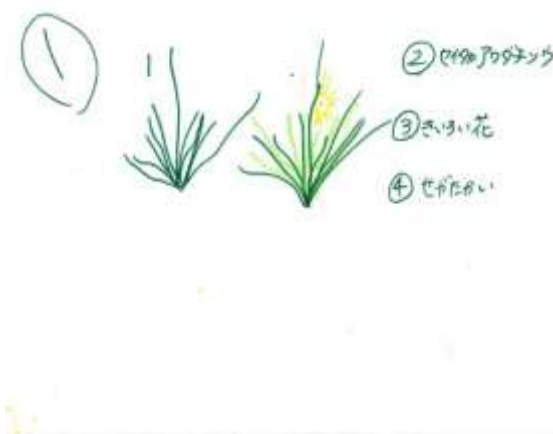


出典：アストロアーツ

なまえ
名前：イナゴ

とくちょう しょうかく みじか あし みじか りよく よわ
特徴：触覚が短い。足が短い。ジャンプ力が弱い

まな かい
学ぶ会より：これはコバネイナゴです。稲を食べる害虫です。



なまえ
名前：セイタカアワダチソウ

とくちょう きいろ はな せ たか
特徴：黄色い花・背が高い

まな かい
学ぶ会より：これは皆さんが抜いている外来種です。北アメリカからお花として輸入したものが増えすぎました。

だい かい はる
第2回 (春) へいせい ねん がつ にち
 平成31年3月27日

かんさつ
観察ルート



にち 1日のようす

①第2回里山はっけん隊！スタートです！



②外来種（セイタカアワダチソウ）を抜く
保全作業！みんな一生懸命です。



③自然観察では、ナナホシテントウの
幼虫、さなぎ、脱皮の瞬間をはっけ

ん！成長過程を1か所で観察することが
できました。



④みんなで輪になって里山ダンス！楽しく春
の七草を覚えることができました。



⑤かまどで炊いたお米で、「黒米おはぎ」を作
りました。



⑥「テントウムシはさなぎのときはブキミ」「か
わいいと人間がつかまえてしまうから」など
と生きものの特徴をとらえ、その理由につ
いても発表をしてもらいました。



★発表してもらった生きもの



出典：アストロアーツ

名前：ツチイナゴ

特徴：目がなみだ目になっています

特徴の理由：敵から身を守るためです

学ぶ会より：親で冬を越します。目の下の模様はまるでなみだのようですね。

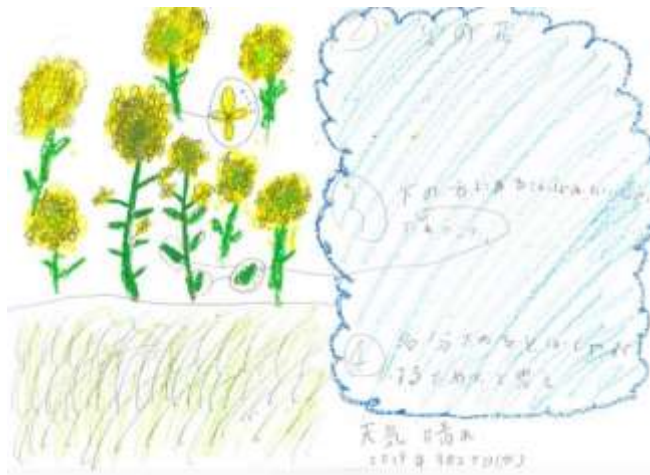


名前：キタテハ

特徴：夏は羽が黄色でふち取りや斑点が黒っぽい。秋は羽がやまぶき色でふち取りが褐色で斑点も薄く小さくなる

特徴の理由：気温の変化があるからだと思います

学ぶ会より：キタテハは親で越冬します。生まれる時の季節の変化に応じて、夏型、秋型と色合いとか姿が変わります。



名前：菜の花

特徴：下のほうにある葉っぱみたいなのは種だった

特徴の理由：たぶん種を飛ばしやすくするためだと思う

学ぶ会より：菜の花は種から菜種油を取るため、栽培されています。花は観賞され、種になり、葉っぱのようなさやに包まれます。さやが割れると種がこぼれ落ちます。

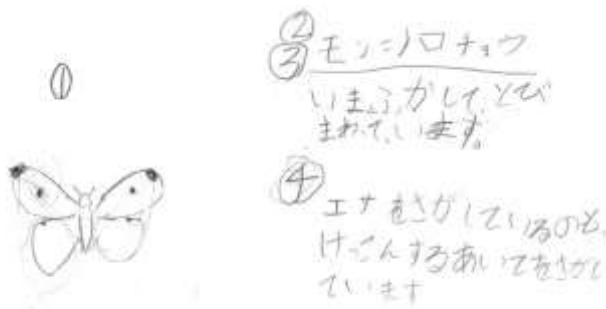


名前：ナズナ

特徴：種のさやがハート形

特徴の理由：わたしは音を出してみんなを元気にさせるためだと思います

学ぶ会より：ナズナは春の七草の一つで、七草がゆに使われます。果実の形が三味線のばちに似ているのでぺんぺん草ともいわれています。ハートにも見えますね。



出典：アストロアーツ

名前：モンシロチョウ

特徴：今、^{いま} 孵化して飛び回っています

特徴の理由：エサを探しているのと、結婚する相手を探しています

学ぶ会より：春の早い時期に羽化します。これから相手を探すのに大変ですね。



名前：ベニシジミ

特徴：羽に黒い水玉模様が

学ぶ会より：春の早い時期に羽化します。幼虫（イモムシ）のエサはスイバかギシギシです。水玉模様が
きれいですね。



名前：ナナホシテントウ

特徴：①黒い点が7つある。体長は5～8mm。アブラムシを食べてくれる。益虫。山から街にかけて生息する

②7つ背中に点がある。幼虫の時は細長い。さなぎはテントウムシのサイズだった

③背中に黒い点が7つあってはじめて見たらとてもきれい

④たまにちょっと動く

⑤テントウムシはさなぎの時はブキミ！！

特徴の理由：①毒があるから派手でも大丈夫！！

②自分が食べてもおいしくないのと鳥にわからせるため

③なんで黒い点が7つあるかは、まだ不明だけどたぶん仲間が自分を敵だと思わないように独特の色をもっているんだと思います

④がんばってさなぎになるため

⑤かわいいと人間がつかまえてしまうからか？！

学ぶ会より：よく観察しましたね。この時は卵、幼虫、成虫と全部の段階を観察できてよかったですね。



名前：ニホンアマガエル

特徴：①いろいろな色がある。緑や茶色。住んでいる場所によって色が変わる
 ②ニホンアマガエルは、目の横にアイラッシュのような黒い線がありそれで区別がつくよう
 です。
 ③皮膚から毒が出る。あまり強くはない。天敵から身を守るためにある。少しピュッとす
 くらい。目の周りに黒い線がある。おなかのあたりは白い。環境で色が変わる。

特徴の理由：①周りの色に同化して天敵から身を守るため

②ニホンアマガエルは、住んでいる場所やいつもいる場所によって肌の色が変わる。隠れて
 いるためだと思います。

③外敵から身を守るため

学ぶ会より：ニホンアマガエルは田植えの後、稲の根に卵を産み付けます。オタマジャクシは水の中で育
 ちます。



名前：ビロウドツリアブ

特徴：くちばしがすごいとんがっている。体に毛が生えている

特徴の理由：高い位置から蜜を吸うことができます

学ぶ会より：ビロウドツリアブはホバリングをしながら花の蜜をすいます。

だい かい なつ
第3回 (夏) れい がんねん がつ にち
令和元年 7月13日

かんさつ 観察ルート



にち 1日のようす

①開隊式終了後、リーダーよりお話を聞

きました。昔は、なんでも再利用し物を
大切にする「捨てるものがない時代」で
した。

②外来種（セイタカアワダチソウ）を抜く

保全作業！根からしっかりと抜けまし
た！

③自然観察では、みんな熱心に生きものを

探していました。夏は生きものの動きが
一番活発な季節です。たくさんの生きも
のをはっけんしました。

④発表では、「ニホンアマガエルの体は身を

守るために緑色をしているのかな」など生
きものの特徴をとらえ、その理由について
も発表をしてもらいました。

⑤工作では、竹で水鉄砲を作りました。竹は、

里山公園で採れた竹を使用しました。子ども
だけでなく、大人も熱心に作成していまし
た。



★発表してもらった生きもの

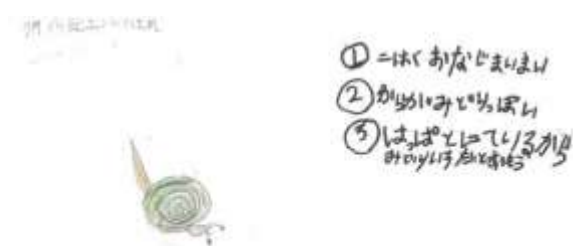


名前：バッタ（ショウリョウバッタ）

特徴：① 体が黄緑色
② 緑・飛ぶ

特徴の理由：① 敵に見付からないようにするため

学ぶ会より：草地に多い大型のバッタです。

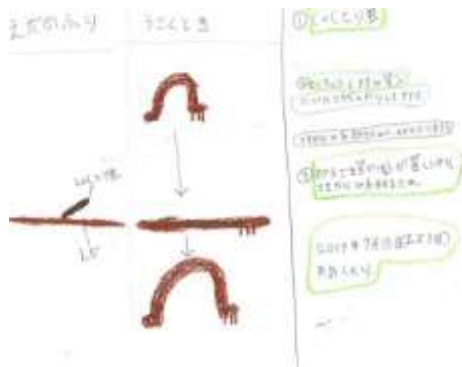


名前：コハクオナジマイマイ

特徴：殻が緑っぽい

特徴の理由：葉っぱと似ているから緑色だと思う

学ぶ会より：もともと暖かい地方に住んでいましたが、近ごろはこの辺でも見られるようになりました。最近増えているようです。



名前：シャクトリムシ

特徴：伸びたり縮んだりして進む。敵から身を守るために枝のふりをする

特徴の理由：その動き方のほうが早いから。敵から身を守るため

学ぶ会より：これはシャクガの幼虫です。この動きから名前が付けられたようです。

- ① コシマゲンゴロウ
 - ② 前足に毛が生えている
いざなぎの足で水を
かく
 - ③ 水をかくときに寒
つめたくならない
ようにするためだと
予想した。
2019. 7/13 日(土)
てんきんもり

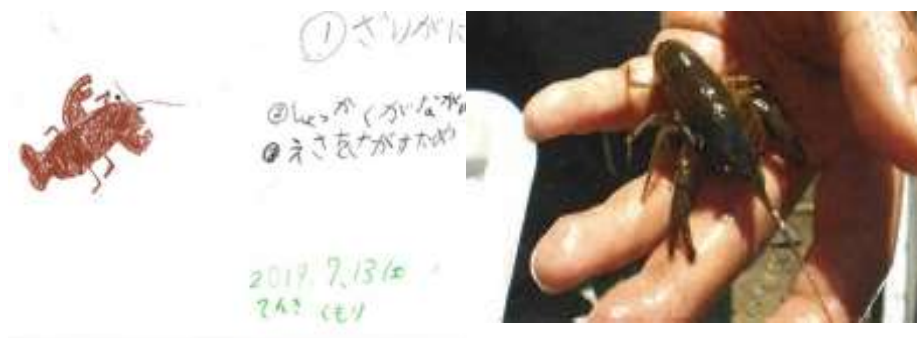


名前：コシマゲンゴロウ

特徴：後ろ足に毛が生えている

特徴の理由：水をかくときに、冷たくならないようにするためだと予想した

学ぶ会より：毛の生えた太い脚は、泳ぐのに便利ですね。



なまえ
名前：ザリガニ

とく ちよう しゅうかく なが
特徴 徴：触覚が長い

とくちよう りゆう きが
特徴の理由：エサを探すため

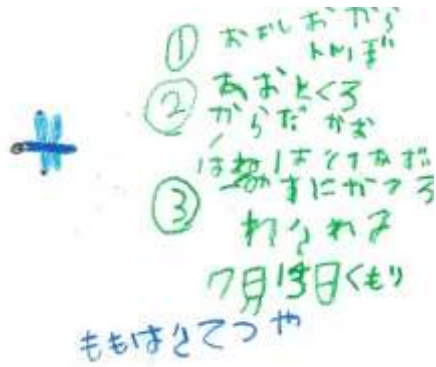
まな かい しよくよう えさ ほくべい ゆにゆう はんしよくりよく つよ ま ひろ
学ぶ会より：食用ガエルの餌として、北米より輸入されました。繁殖力が強く、またたく間に広がりました。触覚までよく観察できましたね。



なまえ
名前：ヤゴ

とく ちよう た み め おお
特徴 徴：あごで食べる。見た目大きかった。見つけた場所は湿地。

まな かい かんきつ
学ぶ会より：ギンヤンマのやごかな？あごまでよく観察できましたね。



名前：オオシオカラトンボ

特徴：青と黒。体、顔、羽は水色。

特徴の理由：水にかくれられる。

学ぶ会より：水の色によく似ていますね。オオシオカラトンボは羽の付け根が黒く、数が多く見られます。

2019.7.13(土)
天気：曇り



名前：シオカラトンボ

特徴：きれいな水にしか卵を産めない

特徴の理由：ヤゴもきれいなところにいるから

学ぶ会より：シオカラトンボはよくみられるとんぼです。田んぼや沼地でヤゴを多く発見されます。



名前：ニホンアマガエル

特徴：①皮膚に毒がある
②緑色

特徴の理由：①ヘビなどの敵から身を守るため。また傷を早く治す効果がある
②身を守るため

学ぶ会より：傷を治すのは、ヒキガエルの油だと思ひます。アマガエルの毒は弱く、目などを触らなければ大丈夫です。場所に合せて色が変わるのは身を守るためですね。

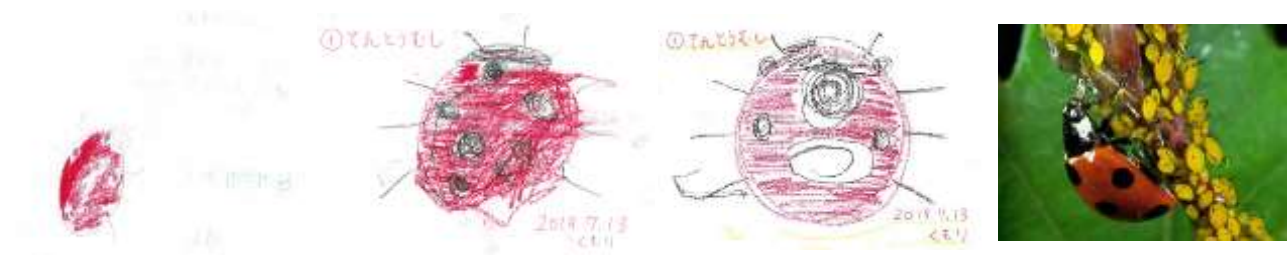


名前：ダンゴムシ

特徴：①まるまる。黒かった
②丸くなる

特徴の理由：②アリに食べられないように

学ぶ会より：ダンゴムシは団子になって、身を守ります。森の掃除屋さんです。



名前：ナナホシテントウ

特徴：黒い点が7個

特徴の理由：隠れるため

学ぶ会より：テントウムシはアルカノイドという毒をもち、肉食性でアブラムシを食べる、強い昆虫です。
赤い体に黒い斑点で目立たせ、身を守っています。

だい かい ふゆ
第4回 (冬) れいわがんねん がつ にち
令和元年12月15日

かんさつ
観察ルート



にち 1日のようす

① だい かいさとやま たい
第4回里山はっけん隊！スタートで
す！



② ほぜんさぎょう
保全作業では、たくさんのセイタカアワ
ダチソウをぬくことができました！



③ しぜんかんさつ
自然観察では、たくさんの生きものをは
っけんしました。生きもののえっとうのよう
すや、ふゆどり冬鳥をはっけんしました。



④ き とくちょう なん き あ
木の特徴から、何の木か当てるゲームを
おこな行いました。みんなせっきよくてき き とくちょう
積極的に木の特徴
を出し合っていました。



⑤ 「ベニシジミはてき め敵の目をちかちかさせる
ためにはね いろ羽の色がオレンジなのかな」な
どと生きものの特ちょう特徴をとらえ、その
りゆう理由についてはっぴょう発表をしてもらいまし
た。



⑥ こうさく さとやまこうえん は しょう
工作では、里山公園の葉っぱを使用したオ
リジナルのエコバッグをつく作りました。みん
な、すてき素敵なエコバッグをつく作ることができま
した。



★発表してもらった生きもの



- ①カワニナ
②まきがい(み)
たし)
③石に似せて
てきから身を守
るため



名前：カワニナ

特徴：巻き貝みたい

特徴の理由：石に似せて敵から身を守るため

学ぶ会より：カワニナはふたを持っていて身を守ります。ゲンジボタルの幼虫の餌です。

①

【ナナホシテントウ】



- ①テントウムシ(テントウ)
②くさう
足がとてはやい
③ゆう
てんてきからにげる
ため

②



ナナホシテントウ
いんげんはくさうと、いんげんはくさう
する。いんげんはくさうは、いんげんはくさう
あひらはくさうはくさうはくさうはくさう
いんげんはくさうはくさうはくさうはくさう
いんげんはくさうはくさうはくさうはくさう
いんげんはくさうはくさうはくさうはくさう



名前：ナナホシテントウ

特徴：①足がとてはやい

②触ると死んだふりをする。くさい。油を出す。

特徴の理由：①天敵から逃げるため

②くさいから鳥もこないし、死んだふりをするから鳥は諦めて帰っていく。守れる。

学ぶ会より：足も速いし、すぐ飛んで逃げますね。おしっこに見えたのはアルカノイドという毒かもしれません。



出典：アストローツ

名前：サワガニ

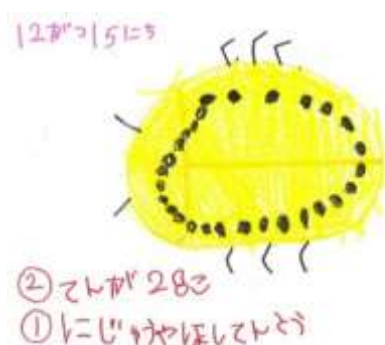
特徴：① 体が茶色

② ハサミがある

特徴の理由：① 敵から身を守るため

② エサを食べるため

学ぶ会より：サワガニはきれいな水の流れている所に住んでいます。そういう環境は大事にしたいですね。



名前：ニジュウヤホシテントウ

特徴：点が28個

学ぶ会より：よく観察し、よく描けましたね。この虫は野菜を食べる害虫です。コロんと落ちて身を守ります。



名前：ゴミムシ

特徴：黒くて小さいよ

学ぶ会より：森の大切な掃除屋さんです。木の根元などを見るとよくいますね。



ドジョウ
口の周りにひげがある
食べ物をとる時に
つかつか
2019年12月15日
めい



名前：ドジョウ

特徴：口の周りにひげがある

特徴の理由：食べ物を取るときに使うから

学ぶ会より：普段は川にいますが、産卵のため田んぼに上がってきます。水がなくなっても、土の中にもぐって生きています。田んぼは水が濁っていて見えないので、ひげが目の代わりをするのですね。



なまえ
名前：ベニシジミ

とく ちよう はね
特徴：羽はオレンジ色です

とくちよう りゆう てきめ
特徴の理由：敵の目をちかちかさせるため

まな かい おや ふゆ こ はね やり
学ぶ会より：親で冬を越せないの、羽根も破れてきました。もう卵も産んだし、よく頑張りましたね。

①



②



① ジョウビタキ
② つばき ねもと しろう
③ はんしよくするため
④ 自然の中に身を隠すため



なまえ
名前：ジョウビタキ

とく ちよう しろう
特徴：① 白いもんがある。しっぽが長い。

② 翼の根元に白いもんがある

とくちよう りゆう はんしよく
特徴の理由：① 繁殖するため。しっぽが長いのはバランスを取るため。

② 自然の中に身を隠すため

まな かい ジョウビタキはロシアなどの寒いところからやってくる渡り鳥です。春になると帰って繁殖します。白いもんが特徴で目印になりますね。



出典：アストロアーツ

名前：ドンぐり、テントウムシ、ジュズダマ、ヤブツバキ

学ぶ会より：いっぱい見つけてよかったですね。里山は楽しい発見がたくさんありますね。

生きもの調査結果

第6期里山はっけん隊！では、四季の生きものについて調査を行いました。

このページでは、皆さんが行った調査の結果を掲載いたします。

季節ごとにはっけんできる生きものを比較しながら、もう1度生きものをはっけんしてみよう！

植物

ふゆ 冬	なつ 夏	はる 春	あき 秋	なまえ	さんこう	ばしょ
	○	○	○	イ（イグサ）	タタミおもて・ゴザ	
○			○	イヌタデ	あかまんま	
	○	○	○	オギ	ススキに似る	
			○	カントウヨメナ	のぎく 野菊のひとつ	
○	○	○	○	ジュズダマ	いととお 糸を通してうでわ、おおむかしにほん 大昔に日本 へきた植物	湿地・草地
○	○	○	○	セイタカアワダチソウ	せいがいらいしよくぶつ ぐん生 外来植物	湿地・草地
○			○	チカラシバ	むし ひつつき虫	湿地・草地
		○	○	ミゾソバ	あき はな 秋は花がまっさかり	
		○		セリ	はる ななくさ すいでん しっち 春の七草。水田などの湿地に は 生えている	
		○		ナズナ	はる ななくさ べつめい 春の七草。別名ペンペン草	
		○		ハコベ	はる ななくさ しろ はな さ 春の七草。白い花を咲かせる	
○		○		コオニタビラコ	はる ななくさ 春の七草のホトケノザは、コオ ニタビラコのことをさす	湿地・草地
	○	○		ハハコグサ	はる ななくさ 春の七草のおぎょうはハハコ グサのことをさす	

ふゆ 冬	なつ 夏	はる 春	あき 秋	なまえ	さんこう	ばしょ
		○		トウダイグサ	どくそう ひあ た 毒草。日当たりのよい田んぼ はたけ は や畑などに生える	
		○		ムラサキケマン	どくそう あわ むらさきいろ はなさ 毒草。淡い紫色の花を咲かす	
		○		ケキツネノボタン	どくそう すいでん は 毒草。水田のあぜなどに生え る	
	○			センニンソウ	りんえん どて みちばた は 林縁、土堤、道端などに生える つるせい そうほんよう らくようもくほん 蔓性で草本上の落葉木本	湿地・草地
○	○			クヌギ	りんちゅうは らくようこうぼく さとやま 林中に生える落葉高木 里山 だいひょうてき き の代表的な木	湿地・草地
○	○			マユミ	さんち きゅうりょうち りんえん あか 山地、丘陵地の林縁や明るい りんない は らくようていぼく こうぼく 林内に生える落葉低木～高木	湿地・草地
○				チャノキ	ちゅうごく とらい じょうりよていぼく 中国から渡来した常緑低木 は ちゃ 葉をお茶にする	湿地・草地
○				ヤブツバキ	かいがん ちか きゅうりょうち りんちゅうちゅ 海岸近くの丘陵地の林冲を中 うしん は じょうりよていぼく 心に生える常緑高木	湿地・草地
○				ムクノキ	ひあ よ てきど しめ きゅ 日当たりが良く適度に湿った丘 うりょうち じせい 陵地などに自生	湿地・草地
○				ススキ	こうげん そうげん みちばた あ ちに ひろ 高原、草原、道端、空き地に広 み く見られる	
○				カラスウリ	あざ あか 鮮やかな赤みがかかったオレ いろ み ンジ色の実をつける	

こんちゅう
昆虫

ふゆ 冬	なつ 夏	はる 春	あき 秋	なまえ	さんこう	ばしょ
	○	○	○	ヒメガムシ	コガムシに似ているが、コガムシよりも一回り小さい	湿地・草地
	○			ユスリカ(幼虫)	蚊のように血は吸わない	湿地・草地
	○		○	コバネイナゴ	イネを食べる	
	○		○	ショウリョウバッタ	明るい草地に多い	湿地・草地
○		○	○	クビキリギス	体の色は緑と茶色がかっている	湿地・草地
○	○	○	○	ナナホシテントウ	赤い羽に7つの黒い水玉模様	湿地・草地
○	○		○	カマキリ	前足に鎌をもつ	
	○	○		モンシロチョウ	日当たりのよい場所で見られる	湿地・草地
○	○	○		ベニシジミ	地面すれすれに飛び、すぐには花や葉にとまる	湿地・草地
	○	○		ツチイナゴ	トノサマバッタのように大きなバッタ	湿地・草地
		○		ツマキチョウ	春にのみ現れる白っぽいチョウ	
	○			キタキチョウ	モンシロチョウより小さく、黄色いチョウ	
	○	○		キタテハ	河原や荒地などを好む	
○	○			オオシオカラトンボ	白い粉に体が覆われている	湿地・草地

すいせいせいぶつ
水生生物

ふゆ 冬	なつ 夏	はる 春	あき 秋	なまえ	さんこう	ばしょ
	○	○		マメゲンゴロウ	すいせいこんちゅう 水生昆虫	湿地・草地
		○	○	コムズムシ類 ^{るい}	せなか うえ およ 背中を上にして泳ぐ	
○	○	○	○	アメリカザリガニ	きた げんさん にほん ほか せ 北アメリカ原産で日本の他、世 かいじゅう ぶんぶ ひろ 界中に分布を広げている	湿地・草地
○	○		○	カワニナ	から かた 殻は固い	湿地・草地
		○	○	サカマキガイ	かんきょうてきおうのうりよく たか 環境適応能力が高い	
○	○	○	○	サワガニ	たんすいいきそだ 淡水域で育つかニ	湿地・草地
	○	○	○	ニホンアマガエル	どく ヒフから毒がでる	湿地・草地
○				ドジョウ	すいでん しっち ぜんこくてき せ 水田や湿地などに全国的に生 いそく 息している	湿地・草地

とり
鳥

ふゆ 冬	なつ 夏	はる 春	あき 秋	なまえ	さんこう	ばしょ
○				ジョウビタキ	つばさしろ もよう めだ 翼に白い模様が目立つ。	湿地・草地

写真出典

※1 アstroアーツ <https://www.astroarts.co.jp/>

第6期里山はっけん隊！「生きものの特徴まるわかり図鑑」

令和2年（2020年）3月発行

発行：茅ヶ崎市

編集：環境部環境政策課・（公財）神奈川県公園協会・柳谷の自然に学ぶ会

〒253-8686

茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

電 話 0467 (82) 1111

F A X 0467 (57) 8388

メール kankyouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp

ホームページ <http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>

市ホームページ

